

「大阪鉄道病院だより」の 発行にあたって

院長 杉野 成

9月も終わりを迎える頃になりますと、さすがの猛暑もその勢いを削がれ、徐々に涼ぎやすさへ季節も移ろいはじめて参りました。ほっと一息の時季に“大阪鉄道病院だより”をお届けさせていただきます。

大阪鉄道病院では、その病院理念に沿って「患者さんの安全を最優先し、患者さんが安心して質の高い医療を受けていただける地域に開かれた病院づくり」に努めてまいりました。また病院が果たすべき社会的責任のひとつとして「すこやかな地域づくりの達成」を目指しております。しかし、目標達成にはまだまだ途上の段階ですが、健康講座などへの住民の皆様のご参加、多くの医療機関の皆様との強い連携の確立そしてボランティアの方々のお力などを得て、お蔭様で一步一步前進させていただいております。

こうした病院内外の活動推進の一環として、それぞれの人たちが健康や医療にかかわる情報の共有や提供を図ることの大切さから、このたび当院では広報誌を発行することといたしました。

どうかご笑覧くださり、ご意見を賜れば幸いに存じます。

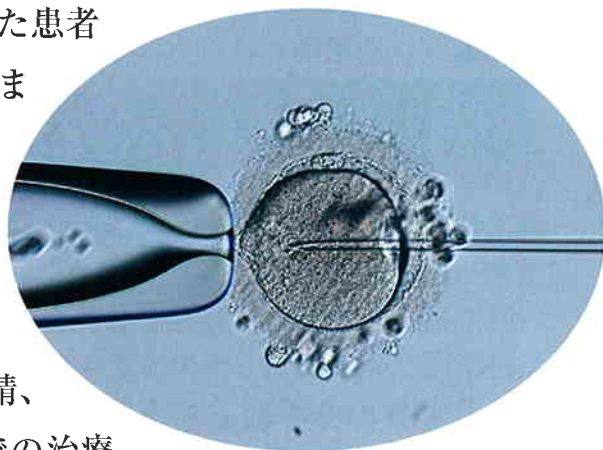


体外受精による妊娠、出産のご報告

婦人科

医長 坂井 昌弘

当院で昨年に体外受精を行っていただいた患者さんから待望の赤ちゃん出産の報告がありました。37歳の方で今年の6月に双子の赤ちゃんを帝王切開にて無事出産されました。また9月には34歳で体外受精をされた方が無事出産されたとの報告がありました。



当院婦人科では平成19年6月より体外受精、顕微授精の治療を開始しました。現在までの治療成績を報告させていただきますと27人(平均年齢36.2歳)の方に36件の採卵を行い14件(13人)の方に妊娠していただくことができました。残念ながら2件の流産例はありましたが、2人が出産され、10人の方が現在妊娠継続中です。採卵一回あたりの妊娠率は38.9%(14件/36件)、症例あたりの妊娠率は48.1%(13人/27人)、流産率は14.3%(2件/14件)となっています。40歳で顕微授精にチャレンジしていただき現在妊娠中の方もおられます。

日本産科婦人科学会に報告されている平成16年の体外受精の採卵あたりの妊娠率は21.6%となっていますのでまずまずのスタートを切ることができました。培養士も今年より2名体制となり、来年度は受精卵の透明帯切開を行えるレーザーアシステッドハッチングの機械を導入する予定となっています。これにより着床がうまくいかない方の妊娠の補助となることが期待できます。



看護部門でも、治療を継続されている患者さんの悩み、不安が取り除けるよう、精神的なサポートができるよう取り組んでおります。また子宮筋腫や子宮内膜症などの不妊原因に対して腹腔鏡、子宮鏡などの内視鏡下手術も充実させていき、できるだけ多くの難治性不妊症の方に、できるだけ早く妊娠していただけるようスタッフ一同取り組んでいます。

診療科のご紹介

呼吸器内科

部長 藤井 達夫

当院呼吸器内科は現在、私と岡本隆司医長および新進気鋭のレジデントの岡本幸美医師の計3名の常勤医で診療を行っています。3人とも出身医局は大阪市立大学医学部呼吸器病態制御内科学教室であり、研究会や学会での活動はもちろんのこと日常診療においてもサポートしていただいております。また当院は研修指定病院であり定期的に研修医がローテーションで回ってきます。

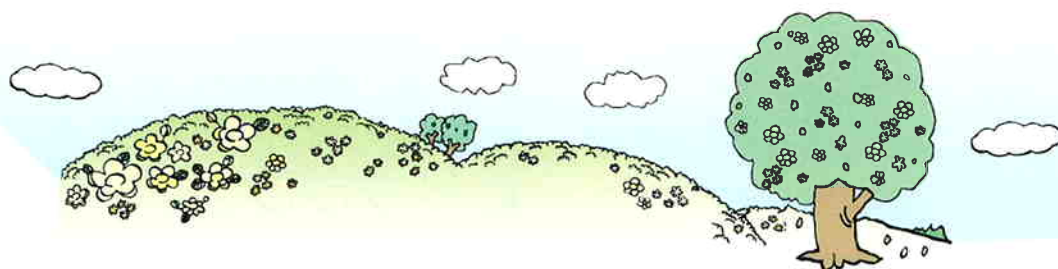
外来診療は平日2診体制にしています。紹介患者さんは主に阿倍野区、平野区、東住吉区の診療所の先生からが多く、特に最近は増加傾向にあります。毎週水曜日には睡眠時無呼吸外来と禁煙外来も行っています。

入院患者さんの病気は肺癌、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、気管支喘息、肺炎、気胸、間質性肺炎など呼吸器領域全般に及びます。特に最近は肺癌の患者さんの数が増加しており、化学療法、放射線療法を中心に行っています。幸いなことに、当院には胸部外科（松井英部長）があり日頃より密に連携しており、主に肺癌や気胸などの手術治療をお願いしています。



検査では気管支鏡検査（年間約100件）や睡眠時無呼吸症候群に対する夜間睡眠時モニタリング検査（年間約50件）を行っています。

また「呼吸器教室」と称して毎月第3月曜日に慢性呼吸器疾患の患者さんに対して講義を行っています。医師、看護師、薬剤師、理学療法士、酸素業者が協力して患者さんが自分自身の病気を十分理解できるように努めています。在宅酸素療法を施行している患者さんも年々増加しており、包括的リハビリテーションの観点からも今後さらに充実をはかってまいります。



病診連携生涯教育 研修会開催

9月13日、天王寺都ホテルにおいて、第13回病診連携生涯教育研修会が開催されました。この研修会は、阿倍野区、平野区、東住吉区をはじめとする開業医の皆さまを対象とした研修で、約100名の方に参加していただきました。当院医師からの演題のほか、特別講演として、聖路加国際病院院長福井次矢先生にご講演いただきました。今後も、地域の病院・診療所の先生方との連携



を深め、地域の皆さまにお役立ちできる病院を目指します。

回復期リハビリテーション病棟 工事完成

今年5月より病棟改良工事を進めてまいりましたが、9月30日をもって終了し、10月1日から9階病棟を回復期リハビリテーション病棟として運用するはこびとなりました。



脳卒中や転倒などによる骨折は高齢の方が寝た

きりになる原因の半数を占めますが、このような病気やけがの後で日常生活を取り戻すには、発症後の適切なリハビリが重要です。回復期リハビリテーション病棟では、機能回復の効果が高い発症後2ヶ月以内の患者さんを対象に、多職種の専門スタッフによる集中的なリハビリテーションを行ってまいります。

健康講座のご案内

日 時 ●平成20年10月28日(火)
午後6時から7時まで
場 所 ●大阪鉄道病院 講堂(3階)
講 師 ●大阪鉄道病院 看護部
皮膚・排泄ケア認定看護師
濱元 佳江

講演内容

「褥瘡(床ずれ)予防について」

～褥瘡予防マットレスの寝心地を
体験しましょう～

その 他 ●定員(60名)・無料
※予約は不要です

大阪鉄道病院の理念

「私達は人間性を尊重し、
謙虚で誠実な医療を提供します」

1. 常に安全を積み重ね、患者さんから信頼される医療に努めます。
2. 常に地域中核病院としての役割を認識し、住民の健康増進に努めます。
3. 常に地域医療機関との連携を重視し、きめ細かな医療に努めます。
4. 常に専門性を追求し、医療レベルの向上に努めます。
5. 常に社会のニーズに応じて、働きがいと誇りの持てる病院づくりに努めます。